



No.8 2001.4

合資会社 東栄松商店

究極の酒造りに挑戦

本年度の仕込みは終わりました。お陰様で極寒の冬に恵まれ酒の仕込みは大変順調でした。今年には究極の酒造りと云われれます精白率を35%の酒米山田錦で大吟醸も造りました。勿論従来の40%精白の大吟醸酒も造っておりますが当店では初めての挑戦でしたが、仕上がりは当店のイメージしておりますより、大変淡麗な味ながら「味のり」の素晴らしい大吟醸が出来ました。又、あらばしりとして汲み出した大吟醸は『太初』として7月頃より出荷の予定ですので、どうぞ一度御愛飲頂きますようお願いいたします。

今年もフードピア金沢は楽しい集いでした

今年のフードピア金沢は女盛りの東てる美さんがゲストで来蔵。自分の生き立ちを飾りのない口調で語られ、又、現在の出演中の「渡る世間は鬼ばかり」の苦勞話なども話され、又宴の中に入りな

がら来客の方々に直に話し合うなど大変和やかな雰囲気盛会の中に終わりました。参加者の皆さまは大満足。来年度もぜひ参加したいとの声が大勢でした。次回も多くの皆さまの御来蔵をお待ちいたしております。



「あらばしりの会」は大盛會、大変御迷惑をお掛けしました

3月10日(土) 第11回目の「あらばしりの会」を催しました。この会は平成3年(1991年)に吟醸を楽しむ会として、当店でしぼりたての「吟醸酒を飲む会」とし発足し、最初は8名の方々の御参加いただきました。以来、毎年毎年御参加の方々が増え、本年は130名の御参加がありました。小さい酒蔵ですので入場出来ない方もおられ、大変御迷惑を掛けました。深くお詫び

特別大吟醸 太初



昨年6月下旬に発売いたしました「限定酒 神泉 特別大吟醸 太初」でございますが好評で4ヶ月で完売いたしました。皆さま方には大変ご迷惑をお掛け致しましたがまた、7月頃の発売予定となっておりますので、ぜひ御愛飲いただきますようお願い致します。

吟醸酒『蔵一番』が新ラベルに変わります



現在「蔵一番」という吟醸酒は、商標権等の事もあり、新しく吟醸酒神泉として再出発します。現在当店では 大吟醸 純米大吟醸 吟醸酒 純米酒 本醸造酒 普通酒と、大筋では6種類の日本酒を出荷しております。蔵一番の名称で吟醸酒の出荷しては出荷するに今年より吟醸酒として出荷することになりました。ラベル、化粧箱とはごらんの通りレトロ口ばい懐古調になり昔ながらの酒造りに、こだわっています当店にはピツタリだと自負しております。どうぞ御愛顧いただきますようお願い致します。尚、尚当分の間は、4合びんう

200mlに限定しての出荷となりますが宜しくお願ひします。

小松の名水「甘露」をサーブします

当店の酒「動山」はふるさとの山、動山(大杉谷)の麓からの湧き水で仕込みました。今年6月から9月までの3ヶ月間、動山1.8本お買い上げの方にはこの仕込み水となつています小松の名水「甘露」(小松市水道事業部製)500mlを1本サーブ致します。名水と比べられてお飲みいただけるのも一興かと思ひます。ぜひ、お試し下さい。

酒蔵の想い

今年のお酒は寒い冬になり、低温のため酒造りは大変順調でした。ただ、味の好みは時代と共に変化していきますが私共の考へている日本酒は古来の酒造りにこだわり続けていきたいと思つていま。最近の酒造りはややもすると飲み手を忘れて審査の得点のみに集中しがちです。マニュアルにはまる酒造りは、個性がなくなり地酒としての意味もなくなるように思ひます。どこで飲んでも同じ酒が出来たら飲み飽きてしまふと思ひます。小松の酒として笑われても昔ながらの味のあるうまい酒を造りたいと思つております。

亭主啓白